

大島おたからマップ



トノスとおばあちゃん

島の坂道を歩くと、独特の形のごを背負ったおばあちゃんに出会えるかもしれません。鳥の巣に形が似ているために「トノス」と呼ばれ、島に自生する黒松の枝を骨組みにして作られています。荷物を背負っても両手が使えるので坂道の多い大島で大変重宝されています。



七名塚 (チンチキ堂) ~大島の七名伝説~

七名の平家の落人が流れついたという「七名伝説」が語り継がれています。この七名は、豊田・貞光・池部・国光・長岡・刀祿・吉光と、現在でも大島で多く残っている名字です。
※学校グラウンド奥の小道を上る

凡例	
	ビューポイント
	ガンギ(石段)
	トイレ
	車椅子優先トイレ
	商店
	食事処
	お宿
	休憩所



ヤマの上の畑では、季節に合わせて葉タバコやそば、ブロッコリーが作られています。



ヤマからの景色

定期船乗場から1000m (徒歩約12分)

ガンギ

大島は坂が多く昔は家に入るにも畑仕事に行くにも、ガンギと呼ばれる石段を上っていました。今は、ほとんどコンクリートで覆われていますが、もし石段ガンギを見つけたら、ぜひ登って昔の人の苦労や上からの景色を味わってみてください。

斜面に住まいを構える大島で石垣は家をささえる重要なもの。万が一石垣が崩れた時、すぐ組み直しができるよう、この家では石に屋号の頭文字を印としてつけています。



「の」の字の石垣

形や大きさのよく似た4つの蔵が並びます。



ゆったり半日コース

秋発11時便で大島へ 11時25分大島着
Aコースと同じ
12時ランチ

おすすめトレイル Bコース (約4km)

12時ランチ 12時45分ゴール
大島発13時便で秋へ

おすすめトレイル Aコース (約1.5km)

秋発11時便で大島へ 11時25分大島着 11時30分スタート
お気楽ランチタイムコース

- 1 漁港の風景
- 2 レトロな商店
- 3 サルの門番
- 4 ウサギの門番
- 5 「の」の字の石垣

①~⑤ 所要時間 約30分(見学時間含)

対馬暖流による穏やかな気候や肥沃な溶岩台地を活かし、昭和14年から続く大島の葉タバコ栽培。共同乾燥施設(通称キョウカン)が出来ると、各家の乾燥小屋で夜通し火を焚き葉を乾燥させていたそうです。



葉たばこ共同乾燥施設

定期船乗場まで2300m (徒歩約26分)

ヤマの上の畑の景色



第4幹線(いろは坂)からの景色

こいとさが 来人坂

定期船乗場まで1500m (徒歩約17分)

第4幹線(いろは坂)

近道(ガンギを下る)の目印は 防火水槽標識

昔ながらのたばこ売場がある。

水道が海底送水で整備されるまで 水源地だった。

水源地

マリンスーパー ながはま

刀祿商店

市営住宅

公園

市営住宅

海水浴場

定期船乗場まで600m (徒歩約7分)

学校にまだプールがなかったころ、島の子どもたちが安全に泳げるようにと島の大人たちがつくった石の浜。大島の赤や黒の石がゴロゴロ。

若いファミリー向けに市営住宅も完備。

学校にまだプールがなかったころ、島の子どもたちが安全に泳げるようにと島の大人たちがつくった石の浜。大島の赤や黒の石がゴロゴロ。

若いファミリー向けに市営住宅も完備。

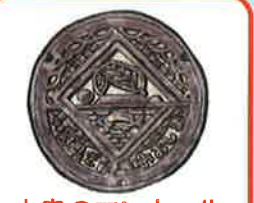
学校にまだプールがなかったころ、島の子どもたちが安全に泳げるようにと島の大人たちがつくった石の浜。大島の赤や黒の石がゴロゴロ。

1 漁港の風景

港では、多くの漁船が並ぶ漁港ならではの風景が見られます。船の煙突や船先などをよく見ると漢字が一文字描かれているものもあります。これは、家族の名前などの一字を描いているもので、大島の漁師さんが家族や家と同じように船を大切にしている証です。
港を見下ろす場所には、有線テレビ(OTV)の定点カメラが設置され、ライブ中継されています。家のテレビで船の帰りを監視していたり、天気や波の様子を確認したりしています。



龍の形の古木
雄阿久瀬



大島のマンホール

海に浮かぶ亀のような形の大島、特産の葉タバコ・アジがデザインされています。

島では珍しい水田。丸山の周りから出る湧水のおりげです。

定期船乗場まで1300m (徒歩約15分)

近道(ガンギを下る)の目印は 防火水槽標識

定期船乗場まで1500m (徒歩約17分)

定期船乗場まで600m (徒歩約7分)

定期船乗場まで1300m (徒歩約15分)

定期船乗場まで1500m (徒歩約17分)

定期船乗場まで600m (徒歩約7分)

定期船乗場まで1300m (徒歩約15分)

定期船乗場まで1500m (徒歩約17分)

定期船乗場まで600m (徒歩約7分)

定期船乗場まで1300m (徒歩約15分)

定期船乗場まで1500m (徒歩約17分)

定期船乗場まで600m (徒歩約7分)

定期船乗場まで1300m (徒歩約15分)

定期船乗場まで1500m (徒歩約17分)

定期船乗場まで600m (徒歩約7分)

100m

定期船に乗って海上さんぽ♪

萩商港から大島へは、定期船で約25分。
ユニークな形や波に削られてきた崖、阿武火山群の山や島を眺めながら気軽に海上さんぽを楽しむことができます。

夏みかんやさつまいもが作られています。

海の中の火山 (阿武火山群)

海に沈んだ火山は天然の魚礁となり、プランクトンが発生しやすくアジ(瀬つきあじ)などの絶好の漁場となっています。

昭和47年(1972)まで人が住んでいました。

こちら側に相島や長門市の青島などが見えます。

昭和46年(1971)までは人が住み、その後はキャンプ場として使われていました。船からは当時の建物が見えます。

船から眺める萩の島々。テーブルのような形が特徴です。船の中から探してみてください!

海から眺める指月山と菊ヶ浜。夕方の便に乗れば夕日が見えるかも!

船から眺める鶴江台。溶岩の崖が見えます。

船から眺める大島は鼻のよう?

船から眺める笠山。市女笠のような形が特徴です。

萩商港付近は風光明媚な三角河川口で、毛利のお殿様が愛した風景・萩八景「鶴江の夕照」として描かれています。

離島航路は3種類!



秋循環まあるバス路線図
 ● 西回りコース(曹作くん)
 ● 東回りコース(松陰先生)
 ○ バス停

定期船「はぎおおしま」の乗り方

- ① 待合所できっぷ(片道のみ)を買う。
 - ② 船に乗りこむ(改札はありません)。
 - ③ デッキや客室で過ごす。
 - ④ 船を降りる際にきっぷを渡す。
- ※帰りのきっぷは大島の待合所で買います。



船内の過ごし方ポイント

- 眺めを楽しむならデッキの展望席で。地元の人と同じ過ごし方をしたいならカーペット席で横になるのもOK。
- 冷蔵庫があるので買ったものを保冷できます。トイレも完備で快適です。
- バリアフリースペースや多目的のトイレも備わっています。

大島への行き方

大島へは、萩商港から定期船「はぎおおしま」が就航しています。

便	萩 → 大島	大島 → 萩
1	07:50 08:15	07:00 07:25
2	11:00 11:25	09:10 09:35
3	15:00 15:25	13:00 13:25
4	17:40 18:05	16:45 17:10



運賃(片道): 大人400円、小人200円、中学生280円 ※15名以上団体割引あり。
 往復きっぷはありません。釣具用品は手荷物へ。車両搭載可(要予約)。道幅が狭く、車両走行できない道路もあります。

問合せ: 萩海運株式会社 TEL 0838-25-2040
 住所: 山口県萩市大字東浜崎町菊ヶ浜139番1 (萩商港)
 駐車場: 120台 1日300円 (30分以内は無料)

大島 郷土料理



いももちは、マリーンスーパー(漁協)やJAなどで購入可能です。
 ひまわり工房が作る角寿司は、毎週火曜日にマリーンスーパーで販売予定です。
 ひまわり工房ではお弁当の注文販売も行っていきます。当日9時までにご注文下さい。
 TEL 0838-28-1212

大島季節暦

*食の時期はおおよその旬を表しています。

	春	夏	秋	冬
特産品	タマネギ(5-7)	菜タバコ(6-8)	プロッコリー(10-3)	ごま(9月)
祭り・イベント	大島八幡宮 春季例祭	大島公民館まつり	大島八幡宮 秋祭	大島まるまる体験ソア

食事処と宿のご案内

島内の食事処は2店のみです。不定休のため、当日営業しているかあらかじめ確認を。

食事処ふるさと

地元の人に愛される島の食事処。日替わり定食がオススメです。
 TEL 0838-28-1210

食事処五月庵

本場大阪の粉を使用したお好み焼きがオススメ。予約制で魚料理も提供。
 TEL 0838-28-0538

民宿よしみつ

網元が経営する民宿で家族的なサービスが好評です。
 TEL 0838-28-0680

五月乃宿

かまどや囲炉裏のある古民家民宿。縁側からは海の景色が楽しめます。
 TEL 0838-28-0538 (食事処五月庵)

ガイドのご案内 大島元気なねえさまの会

島のねえさま達が島の特産品・郷土料理などをご案内します。
 申込み・問合せ: 大島公民館 TEL 0838-28-0595 (月~金: 17:00まで)

編集 | 大島元気なねえさまの会 (農協女性部・漁協女性部・大島婦人会)
 発行 | 萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業実行委員会

平成28年度文化庁文化芸術振興費補助金 (文化遺産を活かした地域活性化事業)



萩まちあるきマップ

大島地区 おたからマップ



大島は、阿武火山群の火山のひとつで、約19万年前に陸上で噴出した溶岩台地です。後に海面が上昇し、テーブルのような形が特徴的な日本海に浮かぶ島となりました。平安時代にはすでに人々が住み、いつのころからか平家の落人が流れ着いたという「七名伝説」が語り継がれています。明治から昭和30年までにかけては、萩沖の高々とともに、六島村を形成し、その中心地となりました。

明治半ばから定置網漁で栄えた大島の漁港には、現在も多くの漁船が並び、漁業生産額が県内の離島ではトップクラスです。また、「ヤマ」とよばれる台地の上には畑が広がり、葉タバコやプロッコリーなどがつくられています。島の南側の斜面には、門や石垣のある家々が寄り添い合うように建ち、近所同士助け合って仲良く暮らしています。

萩の港からわずか25分という距離で、通勤・通学する人も多い、身近な離島・大島に気軽に出かけてみませんか?



このマップは萩まちじゅう博物館の各エリアのおたからを紹介するマップとしてシリーズで発行しています。詳しくは萩データベースでチェック!!
 machihaku.city.hagi.lg.jp/db/

